

河原崎書店

茨城県取手市藤代502
Tel.0297-83-2044

店主
河原崎美津江さん



探求心を持ち続ける藤代の書店

書店を始められたきっかけは？

主人の父親が昭和24年に立ち上げました。その父が亡くなった平成5年から、私が続けています。自分がお店をやるとは思っていませんでした。

父は重い病気にかかり、余命3か月と言われました。平成元年のことです。同じ時期に母の病氣も見つかり、母が先に他界してしまいました。そのとき医師に「お父様に生きがいのある生活をさせてあげなさい」と言われたんです。

趣味を楽しめる環境を整えることも考えましたが、父にとって生きがいはお店だったんですよ。お客様とお話する、問屋さんとやりとりをする、それが生きがいだったんです。店をたたむと元氣がなくなるだろうということで、「私が手伝うからお店を続けましょう」ということになりました。症状がひどくて、医学的な療法はほとんどしていませんでしたが、自分のリズムで生活をしていたらその後5年も頑張れたんですね。そのときに生きがいのある生活は大事なんだなとつくづく思いました。

私もは一般の書籍や雑誌以外に教科書販売もしているのですが、ピークの新学期の時期は肉体的にとっても忙しいばかりでなく、気が張り詰めていて、病氣になっている暇がないです。ところが、具合が悪くなるのはいつも教科書販売が落ち着いて気が緩む

ゴールデンウィーク頃なんですよ。気持ちが大事なことを痛感しています。「病は氣から」ってほんとですね。

商売の面白さは何ですか？

商売は生き物なので日々変化しているってことです。ね。日々起こることに對して自分が工夫、努力した分だけ返ってくると思っています。毎日の変化に立ち向かうという意味で、商売は「私の生きざま」ですね。

書店業界も他の業界と同じく厳しいですが、まだ何かやれることがあるんじゃないかなと常日頃考えています。例えば、高齢化が進む中、みんながインターネットを使いこなせるわけはありませんから、そんな中に、私どもだから埋められるようなすき間を探そうなことをしています。こういった探求心が「私の生きざま」そのもののように思っています。探求心がなくなるときは商売を辞めるときでしょうね。

これから起業する方々、独立する方々にエールをお願いします。

夢をあきらめないことだと思えます。夢があれば、強い気持ちが生まれ、おのずと工夫や努力をすると思います。そうしていれば、結果は後からついてくと私は信じています。夢に向かって頑張ってくださいね。